

9月19日
危機
管理局

1. 自転車用ヘルメット着用の啓発について
2. 職員による防災士資格取得と防災対応力の向上について

以下、
質疑議事録(抜粋)



自転車用ヘルメット着用の啓発について

かじ幸夫 自転車の交通ルールについて、道路の通行方法や事故防止対策など厳格化が進められています。そのなかで、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。そこで、自転車運転に係る事故時のケガの低減に資することで、市民の安全・安心を促進する観点で、自転車用ヘルメット着用に対しての意識啓発を重点的に行うべきではないかと考えますが見解を伺います。

危機管理局副局長 令和5年4月の改正道路交通法が施行され、自転車のヘルメット着用が全世代を対象に努力義務化されています。神戸市では、兵庫県警や兵庫県交通安全協会と連携し、自転車乗車中のヘルメット着用や自転車の交通ルールに対する指導、安全な運転を呼びかけているところです。今後も、地域や警察などの関係機関との連携を密にし、ヘルメット着用について啓発に取り組んでいきたいと考えています。

9月19日
消防局

1. 消防現場活動における安全対策について
2. インバウンドへの対応について
3. 行政事務ポストへの消防職員の派遣について
4. 消防人材の確保について
5. 消防職員の通年採用について

以下、
質疑議事録(抜粋)



消防現場活動における安全対策について

かじ幸夫 過日、大阪道頓堀でのビル火災において消防職員が殉職されました。神戸市消防局においても、過去の殉職事案を受けて、消防現場活動における安全管理の強化など、どのような対策を行っているのか伺います。

消防局長 神戸市消防局においても、過去に殉職事案が発生し多くの貴い仲間の命が奪われるという痛ましい事案を経験しています。このような殉職事案を二度と起こさないという強い決意の下に安全対策を進めているところです。具体的には、指揮体制を強化して課長級の指揮隊長を設け、指揮隊員などを増員、指揮と安全管理、この両面から体制を強化するような形で運用を行っています。さらに家一軒などの炎上火災では、現場指揮や安全管理がしっかりできているのかを見る監察部隊を出動させ、現場の状況を逐一把握し、その結果を踏まえた研修や訓練、今後の消防活動への反映、事故の未然防止など、安全管理能力の向上につなげるように対応しています。



危機管理局・消防局審査(9/19)

次代に責任!

~愛されるまち神戸を「西区」から~

神戸市議員

西区

いつも地域に
かじ幸夫

市会報告

Vol.12
2025

事務所: 神戸市西区王塚台7丁目105-2
TEL&FAX 078(924)0151
E-mail kajiyukio2019@gmail.com

編集・発行/こうべ未来市議員団 〒650-8570神戸市中央区加納町6-5-1 TEL 078 (322) 5844 FAX 078(322) 6161

令和6年度(2024年度)神戸市会計決算の概要

一般会計	歳入決算	9,455億余円
	歳出決算	9,306億余円
	市債残高	1兆2,921億余円

※臨時財政対策債を除いた市債残高6,834億余円

臨時財政対策債とは... 地方交付税の代わりに国が配分する赤字地方債元利償還金全額に対して地方交付税措置あり



本会議における会派代表質疑

1. 令和6年度(2024年度)決算について
(1)2025ビジョンの推進について (2)財政調整基金のあり方について
2. インバウンド対策について
3. 外郭団体の運営について
4. 神戸市営交通事業経営計画の策定について

以下、
質疑議事録(抜粋)



令和6年度(2024年度)決算について

(1)2025ビジョンの推進について

かじ幸夫 令和6年度決算では、法人市民税の増加や固定資産税の増加によって、約14億円の実質収支の黒字を確保しました。震災復興から神戸を新たなステージへと、積極投資などの取り組みが財政指標に良い影響を与えてきたと評価をしています。

神戸2025ビジョンは、各種の目標が最終年度を迎えているなかのように評価をしているのか。また次期計画においてどのような目標設定を検討しているのか見解を伺います。



本会議代表質疑(9/9)

久元市長 税収増加については、これまでの積極投資が域内経済の拡大や市民所得の高揚につながったと考えています。さらに神戸の将来を担う人材の投資として、高校生の通学定期の無償化や、こども医療費の外来助成の対象拡大、中学校給食の全員喫食に向けた取り組みなど、子育てしやすいまちとしての評価も高まっています。

神戸2025ビジョンは、達成状況の総括検証を行い、都心・三宮再整備や駅周辺のリノベーションとして西神中央などの拠点駅で、駅前空間の整備に合わせ民間事業者による住宅供給も生み出されており、全体としておおむね順調に進展したと評価しています。次期計画については、10年後の都市像を描き具体的な施策や目標を掲げるものとして策定を進めています。

(2)財政調整基金のあり方について

かじ幸夫 税収の伸びは順調に推移しつつも財政調整基金の残高は142億円であり、ようやく震災以前の水準を少し上回る程度にとどまっています。近年、着実に残高を積み増してきた一方で、コロナ禍対策などの緊急の財源需要に機動的に対応し活用してきた実績もありますが、今後どのようにこの基金を取り扱っていくのか見解を伺います。

副市長 財政調整基金は、将来にわたる財政の健全な運営に資するために積み立てるものです。突発的な災害時などに迅速かつ柔軟に財政出動するために不可欠な基金だと考えています。引き続き基金造成に努め、持続可能かつ柔軟な財政運営を行っていききたいと考えています。

かじ視点

決算審査・認定から 次年度予算に向け

9月30日、会派として令和6年度神戸市各会計決算並びに関連議案合計23議案について、要望8件を付して認定・承認しました。

本会議や決算特別委員会での審議を通じて、予算に基づいた適切な執行ができていくかをチェックし、具体的な施策に対しては、取り組みの強化や新たな視点での提案などを申し入れながら審議を進めました。現在、会派では決算審査の状況を踏まえ、令和8年度予算に向けた予算要請書を鋭意作成中です。

日常の政務活動や地域活動において、多くの市民の皆さまからご意見・ご提案を頂いているものをしっかりと盛り込んで、次年度予算に反映していけるよう努めてまいります。

誠実に 確実に
神戸のために

